

体験活動参加型（小学校）

学校名等	大垣市立東小学校
実施日時	平成30年7月23日（月）・7月24日（火）
会場	大垣市立東小学校 図工室
参加人数	・23日 親子14組, 子ども追加4名 ・24日 親子12組, 子ども追加7名 合計 63名
学習課題（分野）	親子陶芸教室
運営者の願い	親子で同じ目的と同じ時間を共有し、協力しながら、物を作る楽しさや、物を大切に作る心を育んでもらいたい。また、自分で制作した食器で食事をするのが、子どもの食育につながってほしいと思いを企画しました。

学習の内容

<親子で茶碗作り>

講師 夢現窯 コウノ サトシ先生
河野 利香先生

1. 始めに講師の先生による見本制作で手順を教えてくださいました。

道具と材料：手ろくろ、型（素焼き）、土（主体用、飾り用）、水、布、なめし革

- ①型を使って本体の形成
- ②飾り用の土（赤土）を好きな形にして、本体に水で張りつける。
- ③本体に足を付け、ひっくり返して型をはずし、内側に飾りを付ける。

2. 各自テーブルに戻って制作しました。

- ・先生はとてもスピーディーに作っていましたが、同じ様に作業することが中々難しく、子ども達や保護者の方も道具や土を使うのに試行錯誤していました。子ども達は思うままに作業を進め、保護者の方も真剣に多くの時間を使って飾り付けをしていました。子どものリクエストに応じて飾り付けを手伝うなど自然な親子の関わりも多く見られました。親子でお互いに真剣な姿を見せ合うことで、集中力もより高まり、暑い中でしたが皆さんじっくりと茶碗制作に取り組んでおられました。
- ・実際に制作すると、見ていた筈の作業を忘れることもあり、真剣に見る、学ぶ、という姿勢が大事だと気付かされるが多かったです。

<講師の先生より>

「年齢を問わず、小さい頃から自分のお茶碗を作り、自分で使うことを通して、物を大事にすることを学べることは素敵なこと。自分で作ったお茶碗で食べると食が進みます。」とのお話がありました。

<よいところみつけ>

親子でお互いの茶碗を褒めたり、真剣な姿勢を褒め合う姿が多くありました。子ども達が保護者の方のよいところを嬉しそうに話す姿が微笑ましかったです。

<参加者からの感想>

- ・自分の手で作ったもので食事をしてみたいと考えていたので、とても良い経験になりました。（保護者）
- ・子どもの制作中の真剣な姿が見られて良かったです。（保護者）
- ・難しかったけど、上手にできてうれしかったです。（児童）
- ・初めて陶芸を経験して、楽しかったです。夏休みの思い出ができて良かったです。（児童）



親子で一緒に取り組むことによって、短時間でも密に子どもとの関わりがもて、子どもの成長や新しい一面に気付くことができました。また、物作りの楽しさや達成感を一緒に感じることができました。

親子の会話やふれあいが増えて、コミュニケーションを育む良いきっかけになりました。



よいところみつけの時間を設け、お互いのよさや頑張りを伝えあいました。親子でよさを認め合うことで自然と笑顔が溢れ、温かい関わりが育まれます。

親子がふれあうことの大切さ、子どもとのコミュニケーションを育むことの大切さを身をもって学ぶことができました。